No.	区分	氏名	学部･研究科	内容
1	個人	大芝　竜敬	大学院 会計研究科	校友会奨学生で2012年度総代･副総代となった。
2	個人	小林　由貴	大学院 教職研究科	校友会奨学生で2012年度総代･副総代となった。
3	個人	今井　一誠	社会科学部	第51･52回全日本学生選手権トラック自転車競技大会のケイリンにおいて2連覇を果たした。文部科学大臣杯第68回全日本大学対抗選手権自転車競技大会のタンデムスプリントで優勝し、種目3連覇を成し遂げた。
4	個人	柏原　理子	スポーツ科学部	バンクーバー五輪女子クロスカントリーリレー8位入賞。第7回アジア冬季競技大会女子クロスカントリーリレー銀メダル。全日本学生スキー選手権大会のクロスカントリー･女子リレーで第85･86回と連覇を達成。
5	個人	桑田　寛子	社会科学部	第56回全日本学生テニス選手権大会において女子ダブルス優勝･女子シングルス優勝を果たした。女子シングルス優勝は、第54回大会から3連覇を成し遂げた。
6	個人	櫻井　美馬	スポーツ科学部	2009年全日本距離別ショートトラック･スピードスケート選手権で3冠を達成、全日本選手権でも総合優勝を果たし、翌年のバンクーバー五輪に全4種目に出場。3000メートルリレーでは7位入賞を果たした。W杯では3000メートルリレーのメンバーとして、4戦連続メダル獲得に貢献した。第23回 全日本距離別選手権大会で2009年以来の3冠を達成、総合優勝にも輝いた。
7	個人	佐々木　龍	スポーツ科学部	第53回全日本学生選手権トラック自転車競技大会1kmタイムトライアルにおいて優勝し、文部科学大臣杯第68回全日本大学対抗選手権自転車競技大会のタンデムスプリントで優勝、今井一誠選手とのペアで2連覇した。アジア自転車競技選手権大会では、第29回エリート･オムニアム、第30回エリート･マディソン、第31回団体追い抜き競争にて3位入賞。
8	個人	杉山　雄飛	文化構想学部	WAVOCのプロジェクトで2年間に渡るフィリピンでの戦争被害者支援活動、東日本大震災以後は学生プロジェクトのリーダーとして福島県立双葉高校高校生支援活動を実施。自ら作成した映像を通じた被爆者差別に対する啓蒙活動は独自性があり、意義が深い。
9	個人	田中　幸太郎	社会科学部	レスリングの国内2大大会の一つである明治杯全日本選抜レスリング選手権大会において66kg級（フリースタイル）優勝し、また第38回内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権大会においても男子66kg級優勝を果たした。
10	個人	照井　駿介	政治経済学部	第84回全日本学生馬術選手権大会において優勝を果たし、1956年第28回大会以来56年ぶりの快挙。2010年には世界大学馬術選手権の障害個人で準優勝、2012年にも日本代表チームの一員として出場。
11	個人	古谷　沙理	スポーツ科学部	全日本学生スキー選手権大会のクロスカントリー･女子スプリントで第84･85回、女子リレーで第85･86回とそれぞれ連覇を達成。
12	個人	星　奈津美	スポーツ科学部	ロンドン五輪にて早稲田大学の現役女子学生として史上初のメダルとなる「銅」を獲得。早稲田大学の現役学生が夏季五輪の個人種目でメダルを獲得するのは、1964年の東京五輪以来48年ぶりの快挙。
13	個人	レンティング　陽	スポーツ科学部	全日本学生スキー選手権大会クロスカントリー･男子リレーで第83～85回の3連覇、男子10kmクラシカルで第83･85回に優勝を果たした。第90回全日本スキー選手権大会クロスカントリー･男子チームスプリント優勝など数々の成績を残している。
14	団体	早大バーベルクラブ	―	第47回全日本学生ボディビル選手権大会で団体優勝、個人では1～5位を独占。梶田竜嗣（文学部）は46、47回全日本学生ボディビル選手権大会2連覇を果たす。
15	団体	学生環境NPO 環境ロドリゲス	―	校友による校友のための祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
16	団体	早稲田祭2012 運営スタッフ	―	校友による校友のための祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
17	特別賞 個人	黒田　夏子	教育学部 1959年卒	『abさんご』で第148回芥川龍之介賞を受賞。75歳9か月での同賞受賞は史上最年長記録。
18	特別賞 個人	関塚　隆	教育学部 1984年卒	ロンドン五輪ではサッカー男子日本代表監督として日本代表を44年ぶりのベスト4に導いた。

（以上）